

名情研だより

第19号 平成24年11月

名古屋市情報教育研究会

名古屋市情報教育研究会研究発表大会 第44回愛知県学校視聴覚教育研究大会

平成24年10月16日（水）名古屋市教育センター講堂において、名古屋市情報教育研究会研究発表大会・第44回愛知県学校視聴覚教育研究大会が行われました。そこで、今回は研究部の発表の内容についてお知らせします。

研究主題 「共に学び、確かな学力と豊かな心を育む情報教育」 -情報活用能力の育成とICTを活用した分かる授業の実現をめざして-



上記の研究主題2年目を迎え、情報活用能力研究部とICT活用研究部では、子どもたちの情報活用能力の育成と、ICTを活用した分かる授業づくりを研究の柱にしています。

研究発表では、多くの実践研究の中から、特に五つの実践を選び、詳しく紹介しました。



情報活用能力研究部

情報活用能力研究部では、子どもたちが情報を活用する場面で、どのように情報の交流をすれば、気付きや考えを深めることができるかに注目して研究に取り組んでいます。



稲葉 敦志（玉川小学校）
小5国語「新聞を読もう」

同じ出来事を記事にした4種類の新聞を読み比べ、情報の交流を行った。それにより、掲載する写真の違いや見出しの違いなど、表現方法の違いで伝わる内容が異なることに気付くことができた。

「情報活用能力研究部テーマ
「共に学ぶ活動を通して
情報活用能力を育成する学習の探究」



井上 陽介（春田小学校）
小6総合「給食大解剖」

給食について調べて集めた情報の中から、どの情報を使って発表を行うか、グループ内で情報の交流を行った。それにより考えが伝わりやすい組み立てに気付き、分かりやすい発表資料を作成することができた。



ICT活用研究部

ICT活用研究部では、ICTの特性を理解した上で、どの場面でこういった活用をすると学習のねらいを達成する上で有効であるかに注目して研究に取り組んでいます。

「ICT活用研究部テーマ
「教科指導において、
ICTを効果的に活用した指導法の探究」

小川 拓也（稲葉地小学校）
小3理科「太陽のうごきと
地面の様子をしらべよう」

ビデオカメラで地面に立てた棒を定点撮影した後に早送りをして見たら、陰が動く様子から太陽の動きを考えることができた。



濱地 啓史（榎小学校）
小3総合「伝える力を
身に付けよう」

校内LANを使って、インターネット上のコンテンツを利用したら、子どもが積極的に表現のポイントを活用するようになった。